

# 事例集の解説 ～事例集の見方～

この事例集は、大きく2部で構成しています。

- ①小学校側の取り組み事例
- ②受入地域側の取り組み事例

小学校とその受入地域が“子ども農山漁村交流プロジェクト”にどのように取り組んだかの情報を1冊に集約した特徴から、以下の活用が期待できます。

- 小学校は新たな活動地域情報、他校の取り組み情報としての活用
- 受入地域は小学校を受け入れる場合の学校側の活動地域選定基準や体験メニュー提供の準備等に活用

※本事例集に掲載したデータは平成20～22年度の取り組みを記載していますので、ご留意下さい。

以下は、事例集の各項目の記載内容で押さえておきたいポイントなどを示しました。

## 1. 『子ども農山漁村交流プロジェクト』取り組み事例

### (1) 小学校編

みなみ うお ぬま      い か ざわ  
**南魚沼市立五十沢小学校**

新潟県南魚沼市原331番地1  
電話番号 025-774-2059  
FAX番号 025-774-2082

全学級数	6学級
全児童数	79名
全教職員数	11名

「子ども農山漁村交流プロジェクト」  
取り組み時点の情報を記載して  
います。

## 活動地域と宿泊先

新潟県妙高市

【受入組織：妙高市グリーン・ツーリズム推進協議会】 → 詳細は114ページ

地域名	宿泊施設
新潟県妙高市	民宿(7軒)(2泊)
新潟県妙高市	国立妙高青少年自然の家

小学校の活動のために受入れた組織名と、その掲載ページを記載しました。

## 活動地域の選定で決め手となったポイント

小学校としては活動ができる地域情報も重要です。ここでは、各小学校がどのような理由で活動地域を決定したかを記載しました。

小学校側は新たな活動地域情報として、受入地域側は小学校を受け入れる場合の学校側の活動地域選定基準を確認できます。

## 活動のねらい

小学校が「子ども農山漁村交流プロジェクト」を実施する場合、必ず教育目標などに照らし合わせて、それぞれの“ねらい”を掲げています。逆に言えば、“ねらい”のない活動はあり得ません。

したがって、受入地域側としては、その“ねらい”に沿った、あるいは“ねらい”を果たせる体験メニューの提供などが必要になるため、十分に参考にして下さい。

## 活動の成果

上述の“活動のねらい”が、どのような結果に結び付いたかを記載しました。

児童の成長や変化が見て取れる内容として注目して下さい。

受入側は成果に結びつくような体験の提供を考える上での参考として下さい。

## 取り組み前の課題

小学校は「子ども農山漁村交流プロジェクト」に初めて取り組むにあたり、解決しなければならないどのような課題・問題点を抱えたかを記載しました。

## 課題に対する解決策

上述の課題に対して、小学校はどのようにして解決したかを記載しました。

取り組みに当たってのQ&Aとしても活用ができます。

## 体験活動の実施体制 . . . . .

### 学校の指導（支援）体制

「子ども農山漁村交流プロジェクト」を円滑に実施するため、小学校内部での様々な工夫がなされており、どのような体制で臨んだか理解できる内容を記載しました。

## 配慮事項等（安全確保のための改善点、衛生上の留意点等） . . . . .

### 安全確保

小学校の活動でも安全第一は重要なポイントです。

各小学校の安全確保の内容が理解でき、受入地域側としても十分理解いただきたい点のひとつです。

### 衛生上の留意点

児童の健康は活動の進行に影響するため、衛生管理も重要です。各小学校の対応を記載しました。

受入地域側も、学校側が把握する児童の健康状態やアレルギーの有無などの情報を学校側と共有する必要があります。

## 感想 . . . . .

### 保護者からの声

### 児童からの声

受入地域での活動を終えた事後の声として、保護者と児童の主だった感想を記載しました。

保護者から見た子どもの変化や成長、児童が感じた気付きや感想を記載しており、それぞれの生の声を聴くことで、「子ども農山漁村交流プロジェクト」の根本的な取り組み姿勢の参考になります。



## 実施までの経過 . . . . .

各小学校の「子ども農山漁村交流プロジェクト」の計画段階から実施直前までの過程を中心に記載しました。委託事業等を活用した場合、どのようなことを行わなければならないかの参考になります。

受入側は学校とどのようなことを事前に調整しなければならないかがわかります。

## 活動内容 . . . . .

### 事前指導

### 日 程

### 事後指導

実際の活動で成果をあげるためには先生方の事前の指導は重要であり、加えて、その“ふりかえり”としての事後指導により、児童への教育的成果が確実なものとなります。

その一連の流れを俯瞰でき、参考となるように各学校の取り組みを記載しました。

受入側も学校側が大切と考えている事前・事後の学習にどのように協力できるかを考えてみて下さい。

## (2) 受入地域編

受入地域情報は、「子ども農山漁村交流プロジェクト」に取り組む小学校に対して、受入地域側がどのようなスタンスで受け入れに臨んでいるかが理解できる情報を収集しました。

小学校側は今後の活動地域の検討資料として、受入地域側は他の地域の体制整備等の参考に役立てて下さい。

## 2. 調査票回答データ

本事例集の調査対象とした13小学校、13受入地域から回答のありました調査票のデータを掲載しています。

「児童一人当たりの概算費用」や「体験活動の教育課程上の位置づけ」など、取り組みの詳細情報を記載しています。